

果樹カメムシ類発生量調査

調査日平成18年7月1日

調査地点：島根県出雲市芦渡町

概況：6月6半旬に入り、気温（夜温）が上がったことから、カメムシ類の活動が活発となり、チャバネアオカメムシフェロモントラップおよび予察灯での誘殺数が増加しています。昨年のカメムシ類の越冬量は多く、本年のスギ、ヒノキ毬果は平年並と予測されますので、昨年より早く圃場に飛来すると思われれます。

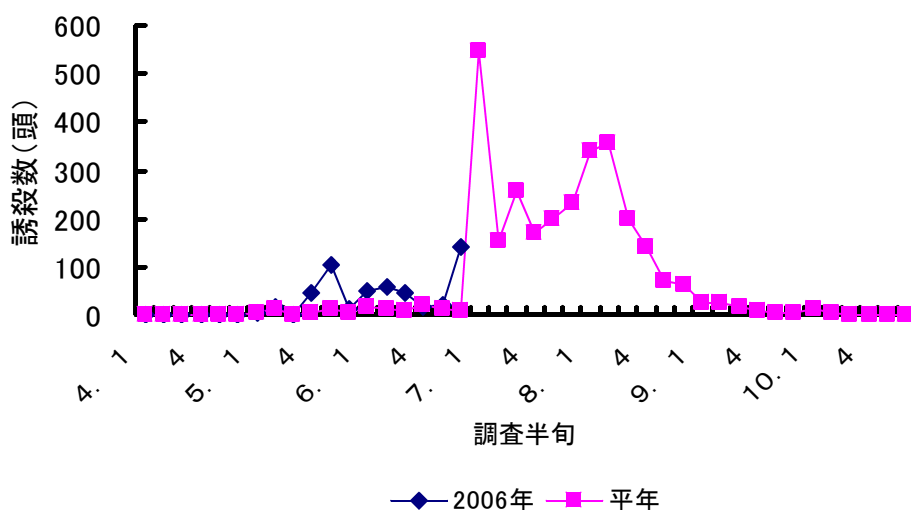


図1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

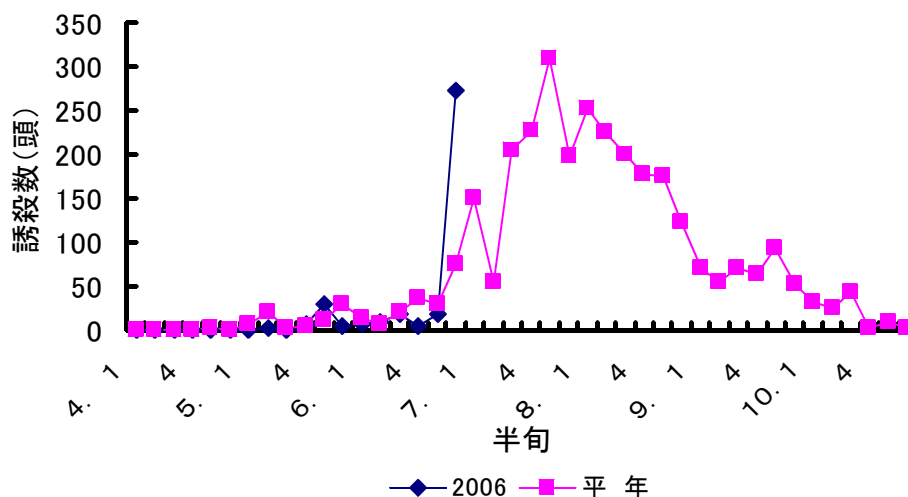


図2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

参考：フェロモントラップによるカメムシ調査はチャバネアオカメムシのみをフェロモンによって誘引し誘殺数を数える調査です。
予察灯による調査は水銀灯に集まるカメムシ（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）を数える調査です。

次回更新7月6日予定